

2022年度 日本工学院専門学校											
マンガ・アニメーション科四年制											
描画技法3 A											
対象	3 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	45	単位	1
担当教員	山田 香織/青木 紀明			実務 経験	有	職種	コンセプトアートデザイナー				
担当教員紹介											
デザイナー、コンセプトアートデザイナー。、学生の頃から、ファッション・メイク等のイベントをイベントアーティストとして主催した経験を活かし、キャラクターデザインやスタイリスト授業などを担当。（山田香織）他。											
授業概要											
業界に必要な専門的な知識や技術を体系的かつ実践的に学ぶ授業。市場規模、市場研究を行い、自身の職種の役割や、業界で求められる事を、進路へ活かし、実技でも身につけていく。											
到達目標											
以下、二つを習得する 1. 目標とする業界への知識の習得 2. 求められる人材になる為の知識の習得 3. グループワークにて、コミュニケーション力、伝達力、表現力の強化。											
授業方法											
毎回テーマごとに、パワーポイント、映像での授業の実施、解説。 授業内容に合わせ、プリントを用意し、自宅で研究する課題を提出する。 また、グループワーク、ディスカッションなどの機会を作り、意見交換を行う事で研究の幅を広げる。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。内容によって採点									
成果発表	20%	授業内に行われるディスカッション・グループワークによる評価									
平常点	10%	授業態度									
履修上の注意											
進路に関わる内容の為、授業中受講態度には厳しく対応する 理由のない遅刻・欠席は認めない 授業時数の4分の3以上出席しない者は単位の取得が出来ない 研究、グループワーク時のスマートフォンの使用は許可した時のみ使用可能											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	社会人基礎①										
第2回	社会人基礎②										
第3回	社会人基礎③										
第4回	社会人基礎④										
第5回	社会人基礎⑤										
第6回	社会人基礎⑥										

2022年度 日本工学院専門学校	
マンガ・アニメーション科四年制	
描画技法 3 A	
第7回	情報収集とメディアの活用、経済の基本構造と変化について理解する
第8回	過去問題の実施、解説により出題傾向と対策を理解する（1）
第9回	過去問題の実施、解説により出題傾向と対策を理解する（2）
第10回	過去問題の実施、解説により出題傾向と対策を理解する（3）
第11回	プレゼンテーションを学ぶ
第12回	プレゼンテーション発表を行う
第13回	フィードバックを受けて、発表に必要なことを学ぶ
第14回	仕事への取組み方、ビジネス文書の基本について理解する
第15回	仕事への取組み方、ビジネス文書の基本について理解する